



かつて、古き良き時代に、英国出身の故ガディア博士が、小さなグループで個人的にバガヴァンのインタビューを受けられた時の体験です。「スワミは何でも質問に答える用意があります。誰か、何か質問はありませんか？」とババ様はおっしゃり・・・以下、ガディア博士の報告をお読みください。

私は何世代もあなたと共にいるでしょう・・・

スワミは帰依者たち全員の顔を見ながらおっしゃいました。
「もし誰も質問がないようなら、ガディア、あなたが何か質問しなさい！」

私は心の中でお祈りし、理にかなった質問を見つけようと探しました。お祈りを捧げた瞬間、最愛のスワミは私が質問するのを助けてくださいました。
「スワミ、あなたはシルディにおられたとき、シルディ ババ様の熱烈な帰依者だったシャーマに、過去 72 世代においてシャーマはあなたと繋がりがあつたとおっしゃいましたね。また、デュランダール一家がシルディに到着したとき、『彼らは私のダルパール（王宮）のメンバーで、過去 60 世代において繋がりがありました！』ともおっしゃいました。私は今、あなたの御前におります。私はどのくらい前の世代からあなたとの繋がりがあつたのかを知りたいです」

すると、スワミはこうおっしゃいました。
「あなたは、過去に何世代もかけてスワミと繋がってきました。そして、まだこれからもっともっと多くの世代をスワミと繋がることとなります」

私は即座に尋ねました。
「では、私は解脱できないのですか、スワミ？」

スワミは長椅子にまっすぐ座り直し、不愉快な表情を浮かべておっしゃいました。

「解脱？ それはあなたが大変な偽善者だということです！」

私はすぐさま答えました。

「スワミ！ なぜあなたが私を偽善者と呼ばれるのか理解できません」

バガヴァンはおっしゃいました。

「あなたは帰依者たちの前で、このバジャンを歌っていませんか？

トウムヒン メーレー ラーム ホー…トウムヒン メーレー シャーム ホー…トウムヒン メーレー プラーナ ホー…ジャナム ジャナム ケー サティ ホー…（あなたは私のラーマです！ あなたは私のクリシュナです！ 何度生まれ変わろうと、あなたは私の魂です、あなたは私の伴侶です！）」

バガヴァンは、続けておっしゃいました。

「この歌は、スワミは数多くの人生を通じてあなたの伴侶であるということを帰依者たちに伝えています。それは見せかけに過ぎません。なぜなら今日、あなたは私に『解脱』を与えてほしいと頼んだからです！ 自分を偽善者だとは思わないのですか？」

私は両手で両側の耳たぶを引っ張り、こう言いました。

「スワミ、私は今回の人生では解脱を求めないとお約束します。しかし、これから先の転生でも、あなたはずっと私の伴侶であり続けてくださるのですか？」

スワミは陽気なムードでお答えになりました。

「はい。スワミは将来、何世代にもわたってあなたと共にいましょう。あなたの次の人生はマイソール州のシュリーランガパトナムになるでしょう。そして、あなたはプレーマサイと共に過ごすことになるでしょう。今回の人生であなたは私に奉仕してきましたが、更にもっと奉仕することになるでしょう！」

